

# 大分

大分支局 〒870-0034 大分市都町  
 1-1-23 13階  
 電話097・532・4131 FAX532・4134  
 oita@mainichi.co.jp

宇佐通信部 0978・32・2333  
 別府通信部 0977・23・3361  
 佐伯通信部 0972・20・4472

## 「若者を中津に呼び込め」

たお披露目会の後、トートバッグの絵付け体験があった。

大分市の日本文理大建築学科の学生たちが「同世代の若者が来たくなる仕掛けを」と考えた、中津市の城下町の「観光周遊アイテム」を披露した。中津を象徴するデザイン型の紙を使ったトートバッグの絵付け体験や、城下町と周辺のカフェ、飲食店の紹介カードなどだ。絵付けは4月から中津市歴史博物館で300円で体験でき、カードは既に博物館に置かれている。

### バッグ絵付け体験、紹介カード…

「学生たちは2020年度、城下町を周遊する仕掛けとして、これを市に提案し、21年度にブラッシュアップさせた。型紙のデザインは、中津城、和傘、レンタサイクルなど5種類。絵をパソコンに取り込んで型抜きした線を入力し、レーザーカッターで厚紙を切って仕上げる。細かな部分も表現した。これをトートバッグに乗せてオレンジ、黒、白、青のアクリル絵の具で塗り、思い思いの作品にする。ハモやカプトムシなど、博物館にある消しゴムのはんこを押すこともできる。

紹介カードは縦15センチ、横9センチで22店を取り上げた。1枚につき1店を紹介し、メニュー写真、営業時間、おすすめ、予算や学生のコメントが並ぶ。裏面は店の所在地を示す地図。市は1000枚ずつ印刷した。利用者は、博物館のラックから好みの分を取り、カードリングで留めて持ち歩ける。「メクル、メクル、ナカツ」と名付けた。他に、中津城の石垣

### 観光周遊アイテム 日本文理大生が考案



を表現しようと、竹を縛って積み上げて作ったベンチが、博物館のテラスに置かれた。12日に博物館であつ

【宮本勝行】

好きな店の分をラックからカードリングに留めて持ち歩ける「メクル、メクル、ナカツ。」